2023　年度　授業計画（シラバス）

学　　科	柔道整復スポーツ学科	科　目　区　分	その他	授業の方法	実習
科　目　名	トレーナー実習Ⅴ	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30　(1)　時間(単位)
対 象 学 年	1年生	学期及び曜時限	後期	教室名	ATルーム、各実習現場
担 当 教 員	中山広基	実務経験とその関連資格	日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー、はり師・きゅう師 社会人ハンドボールチームHC彦根ヘッドトレーナー4年/HCデンジャラス1年/滋賀県成年男子ハンドボール代表チームヘッドトレーナー5年/日本プライベートフットボールリーグ帯同トレーナー9年（アメリカンフットボール）/関西大学北陽高校ハンドボール部トレーナー1年		

《授業科目における学習内容》

障害予防を意識したトレーニング指導を学び、競技復帰のためのトレーニングメニューを指導できるように修得する。また、障害予防とケガのトータルコンディショニングを習得する。

《成績評価の方法と基準》

1. 期末レポート：70％
2. 授業内課題：20％
3. グループワーク中の態度・発表：10％

《使用教材（教科書）及び参考図書》

アスレティックトレーナー専門科目テキスト 第6巻（日本スポーツ協会）
リファレンスブック（日本スポーツ協会）

《授業外における学習方法》

指定している教科書を事前に読んでおくこと。
授業内でスムーズに進行するため事前に配布された資料を確認すること。

《履修に当たっての留意点》

筆記試験でのポイントを中心に問題を演習し、自らすべての問題を解説出来るレベルまで習熟度を上げる。

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	実習形式	授業を通じての到達目標	障害予防を意識したトレーニング指導ができるようになる(1)	アスレティックトレーナー専門科目テキスト 第6巻（日本スポーツ協会）リファレンスブック（日本スポーツ協	授業範囲を把握 必要用語を学習し 用語集の作成
		各コマにおける授業予定	頭頚部		
第2回	実習形式	授業を通じての到達目標	障害予防を意識したトレーニング指導ができるようになる(2)	アスレティックトレーナー専門科目テキスト 第6巻（日本スポーツ協会）リファレンスブック（日本スポーツ協	授業範囲を把握 必要用語を学習し 用語集の作成
		各コマにおける授業予定	胸部		
第3回	実習形式	授業を通じての到達目標	障害予防を意識したトレーニング指導ができるようになる(3)	アスレティックトレーナー専門科目テキスト 第6巻（日本スポーツ協会）リファレンスブック（日本スポーツ協	授業範囲を把握 必要用語を学習し 用語集の作成
		各コマにおける授業予定	腰部①		
第4回	実習形式	授業を通じての到達目標	障害予防を意識したトレーニング指導ができるようになる(4)	アスレティックトレーナー専門科目テキスト 第6巻（日本スポーツ協会）リファレンスブック（日本スポーツ協	授業範囲を把握 必要用語を学習し 用語集の作成
		各コマにおける授業予定	腰部②		
第5回	実習形式	授業を通じての到達目標	障害予防を意識したトレーニング指導ができるようになる(5)	アスレティックトレーナー専門科目テキスト 第6巻（日本スポーツ協会）リファレンスブック（日本スポーツ協	授業範囲を把握 必要用語を学習し 用語集の作成
		各コマにおける授業予定	肩部		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	実習形式	授業を通じての到達目標	障害予防を意識したトレーニング指導ができるようになる(6)	アスレティックトレーナー専門科目テキスト 第6巻(日本スポーツ協会) リファレンスブック(日本スポーツ協	授業範囲を把握 必要用語を学習し 用語集の作成
		各コマにおける授業予定	肘、前腕部		
第7回	実習形式	授業を通じての到達目標	障害予防を意識したトレーニング指導ができるようになる(7)	アスレティックトレーナー専門科目テキスト 第6巻(日本スポーツ協会) リファレンスブック(日本スポーツ協	授業範囲を把握 必要用語を学習し 用語集の作成
		各コマにおける授業予定	手関節、手部		
第8回	実習形式	授業を通じての到達目標	障害予防を意識したトレーニング指導ができるようになる(8)	アスレティックトレーナー専門科目テキスト 第6巻(日本スポーツ協会) リファレンスブック(日本スポーツ協	授業範囲を把握 必要用語を学習し 用語集の作成
		各コマにおける授業予定	骨盤帯、股関節部		
第9回	実習形式	授業を通じての到達目標	協議復帰のためのトレーニングメニューが指導できるようになる(1)	アスレティックトレーナー専門科目テキスト 第6巻(日本スポーツ協会) リファレンスブック(日本スポーツ協	授業範囲を把握 必要用語を学習し 用語集の作成
		各コマにおける授業予定	大腿部		
第10回	実習形式	授業を通じての到達目標	協議復帰のためのトレーニングメニューが指導できるようになる(2)	アスレティックトレーナー専門科目テキスト 第6巻(日本スポーツ協会) リファレンスブック(日本スポーツ協	授業範囲を把握 必要用語を学習し 用語集の作成
		各コマにおける授業予定	膝関節部①		
第11回	実習形式	授業を通じての到達目標	協議復帰のためのトレーニングメニューが指導できるようになる(3)	アスレティックトレーナー専門科目テキスト 第6巻(日本スポーツ協会) リファレンスブック(日本スポーツ協	授業範囲を把握 必要用語を学習し 用語集の作成
		各コマにおける授業予定	膝関節部②		
第12回	実習形式	授業を通じての到達目標	協議復帰のためのトレーニングメニューが指導できるようになる(4)	アスレティックトレーナー専門科目テキスト 第6巻(日本スポーツ協会) リファレンスブック(日本スポーツ協	授業範囲を把握 必要用語を学習し 用語集の作成
		各コマにおける授業予定	下腿部		
第13回	実習形式	授業を通じての到達目標	協議復帰のためのトレーニングメニューが指導できるようになる(5)	アスレティックトレーナー専門科目テキスト 第6巻(日本スポーツ協会) リファレンスブック(日本スポーツ協	授業範囲を把握 必要用語を学習し 用語集の作成
		各コマにおける授業予定	足関節部①		
第14回	実習形式	授業を通じての到達目標	協議復帰のためのトレーニングメニューが指導できるようになる(6)	アスレティックトレーナー専門科目テキスト 第6巻(日本スポーツ協会) リファレンスブック(日本スポーツ協	授業範囲を把握 必要用語を学習し 用語集の作成
		各コマにおける授業予定	足関節部②		
第15回	実習形式	授業を通じての到達目標	障害予防とケガのトータルコンディショニングができるようになる	アスレティックトレーナー専門科目テキスト 第6巻(日本スポーツ協会) リファレンスブック(日本スポーツ協	授業範囲を把握 必要用語を学習し 用語集の作成
		各コマにおける授業予定	習得した知識の確認		